

町民一人当たりの税負担額 79,639円

町民税 34,368円 固定資産税 35,498円 軽自動車税 2,920円 町たばこ税 6,853円

町民一人当たりに使われる額 4,067,945円

議会費 8,438円 総務費 190,383円 民生費 160,432円 衛生費 78,466円 農林水産業費 90,759円 商工費 30,192円

土木費 64,268円 消防費 34,579円 教育費 71,676円 災害復旧費 700,909円 公債費 101,160円 復興費 2,533,334円 予備費 3,349円

平成28年度の主な取り組み

(※1万円未満切り捨て)

1 安心な住まいと暮らしやすい環境の整備

防災集団移転促進事業 ……32億8,642万円
 災害公営住宅整備事業 ……159億8,700万円
 被災者住宅再建支援事業 ……1億8,000万円
 被災地域交流拠点施設整備事業補助金 2,500万円
 防災集団移転団地集会所備品購入補助金 775万円

2 生命と財産を守る安全なまちづくり

道路橋りょう災害復旧事業 ……36億3,584万円
 河川災害復旧事業 ……3,740万円
 防災行政無線屋外子局災害復旧事業等 ……1億4,800万円
 ヘリポート設置事業 ……7,000万円

3 子育てを支えるまちづくり

子ども医療費助成金 ……3,560万円
 教員補助事業 ……2,904万円
 放課後児童クラブ施設改良事業 ……100万円
 特定不妊治療費助成金 ……150万円
 子どもの心のケアハウス事業 ……586万円

4 にぎわいと活気のある地域づくり

移住相談支援事業 ……1,000万円
 地域おこし協力隊事業 ……1,280万円
 定住促進住宅移築事業 ……7,300万円
 企業立地奨励事業 ……1,000万円
 起業支援補助事業 ……1,500万円
 事業復興型雇用創出事業補助金 ……1,200万円
 漁港施設災害復旧事業 ……43億2,134万円
 水産加工業従業員宿舎整備事業・家賃補助事業 ……2,000万円

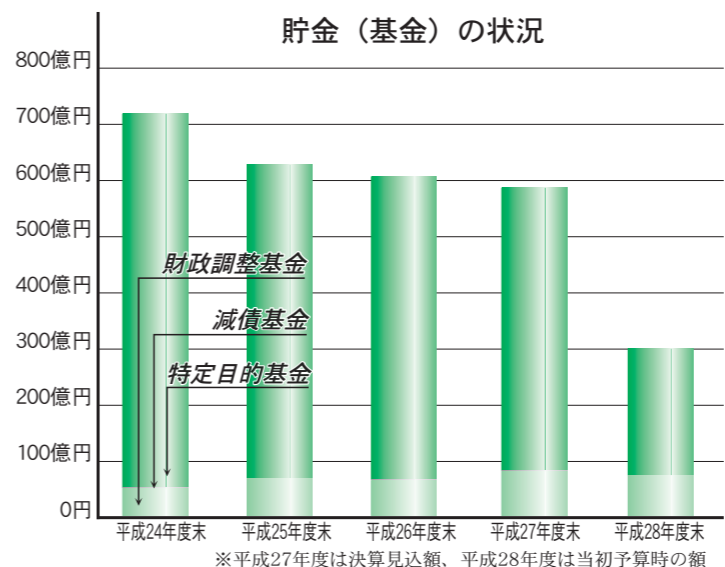
水産加工工場等施設整備事業補助金 23億6,670万円

5 「おもてなし」の心を持った、魅力あふれるまちづくり

教育旅行誘致促進事業 ……740万円
 交流促進事業 ……1,270万円
 地域案内所窓口運営事業 ……6,400万円
 感謝絆プロジェクト推進事業 ……1,500万円
 産業振興ビジョン策定事業 ……1,000万円

6 豊かな地域資源を活用した「南三陸ブランド」の創造

水産ブランド振興事業 ……200万円
 南三陸材利用促進事業補助金 ……3,000万円



財政調整基金…年度間の財源の不均衡を調整するための積立金 (一般家庭にあてはめると生活資金的な貯金)
 減債基金…町債の償還のための積立金 (一般家庭にあてはめるとローンの繰上償還などのための貯金)
 特定目的基金…特定の目的のための資金積立金 (一般家庭にあてはめると家の建築、老後の生活など目的をもった貯金)

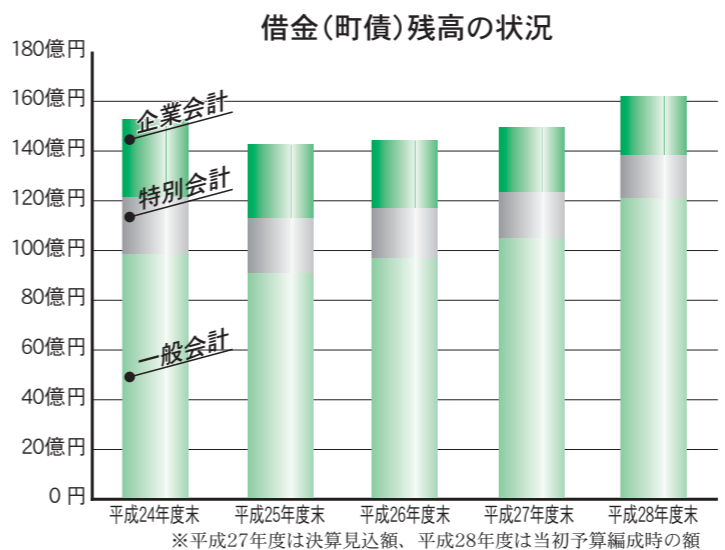
【南三陸町の貯金】

一般会計の平成27年度末の貯金(基金)残高見込額は、財政調整基金、減債基金、特定目的基金を合わせると約580億8,600万円となります。

財政調整基金について、平成27年度末残高見込額は約83億3,800万円です。平成28年度当初予算編成において、5億円の取り崩しとなっており平成28年度末の残高は減少する見込みですが、引き続き慎重な運用に努めます。

減債基金について、災害援護資金償還のための繰入と積立を行うため、平成28年度末残高見込みは約1,300万円となります。

特定目的基金については、平成28年度末残高見込額は約221億1,200万円と平成27年度末残高見込みと比べ約276億1,700万円の大幅な減少となっています。これは、復興交付金事業に要する経費の財源に充てるため設置した復興交付金基金の取り崩しによる減額となっています。



【南三陸町の借金】

町が、学校や道路、漁港など長い期間使用する公共施設を建設するときその財源として町債発行という形で借金をしています。これは、単に一時期にたくさんのお金がかかりそのお金がないからという理由だけではなく、建設にかかるお金を分割払いにして、これから利用する町民も世代間にわたって公平に負担しようという考えからです。

平成27年度末の借金(町債)残高見込額は、全会計で、約148億4,500万円となります。一般会計では、平成27年度末残高見込額は約104億1,200万円となっています。平成28年度以降は復興事業の進捗に伴い、借入額は少しずつ減少して行く一方で、災害公営住宅建設事業等のために借りた借金の返済額が増加すると予想されます。

会計区分	28年度当初予算	対前年度比
特別会計	国民健康保険特別会計	26億200万円 ▲5.2%
	後期高齢者医療特別会計	1億3,270万円 ▲14.8%
	介護保険特別会計	16億7,000万円 4.0%
	市場事業特別会計	3,480万円 44.4%
	漁業集落排水事業特別会計	2,740万円 ▲29.6%
	公共下水道事業特別会計	3億5,000万円 ▲11.2%
計	48億1,690万円 ▲3.0%	
企業会計	水道事業会計	収益的収入 4億4,530万円 ▲6.9%
	水道事業会計	収益的支出 4億3,020万円 ▲0.9%
	水道事業会計	資本的収入 6億4,974万円 ▲64.2%
	水道事業会計	資本的支出 8億2,710万円 ▲57.6%
	病院事業会計	収益的収入 20億2,080万7千円 40.2%
	病院事業会計	収益的支出 20億2,080万7千円 35.6%
企業会計	病院事業会計	資本的収入 2億3,267万円 ▲94.9%
	病院事業会計	資本的支出 2億6,423万円 ▲94.2%
	訪問看護ステーション事業会計	収益的収入 5,088万6千円 ▲5.0%
訪問看護ステーション事業会計	収益的支出 5,088万6千円 ▲5.0%	
(支出)計	35億9,322万3千円 ▲57.7%	

【特別会計予算】

総額48億1,690万円となり、前年度予算と比べると約1億4,700万円、3.0パーセントの減となっています。国民健康保険特別会計における保険財政共同安定化事業拠出金の減額などが要因となっています。

【企業会計予算】

総額35億9,322万3千円となり、前年度予算と比べると約49億1,000万円、57.7パーセントの減となっています。水道事業会計では、当初予算は前年度より減額となっておりますが、災害復旧事業において平成27年度からの比較的大きな繰越を予定しているため、事業全体では執行予定額は前年度を上回る見込みとなっております。また、病院事業会計については、南三陸病院が昨年完成を迎えたことに伴い、減額となっています。